



主催: 応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会
共催: 山形大学理学部

第4回市民講座

「未来を作る有機材料の科学」

日時: 平成25年 10月19日(土) 14:00~16:00

場所: 山形大学 理学部 12番教室

参加費: 無料

有機材料は私たちの生活において、医薬品から電化製品に至るまで幅広い分野で利用され、日本の産業を発展させてきました。有機物とは、生物を構成する“炭素を主成分とする物質のこと”で、地球上に豊富に存在し、低毒・安価・軽量と言った特徴があります。有機物を利用することで、日本では産出されない有用な鉱物の代わりのような役割ができれば、私たちの生活はもっと豊かになるでしょう。

そこで、今回は「未来と作る有機材料の科学」と題し、有機材料を用いた様々な研究を行っている2人の先生にお話をさせていただきます。



14:00~14:45

『山形から世界を照らす！』

『有機ELの基本原理とその応用について』

山形大学大学院理工学研究科 有機デバイス工学専攻
夫 勇進 准教授



15:00~15:45

『3Dゲルプリンターによる医食イノベーション』

山形大学大学院理工学研究科 機械システム工学専攻
古川 英光 教授

詳しい問い合わせ先:

山形県山形市小白川町1丁目4-12

山形大学理学部 松井 淳 准教授

e-mail: jun_m@sci.ki.vamagata-u.ac.jp

